



山本建設株式会社
YAMAMOTO Construction Co.,Ltd

環境経営レポート 2022



ヤマちゃん

ケンちゃん

— 第14版 —

2023年 9月 1日 発行

(対象期間:2022年8月-2023年7月)



代表者挨拶

当社は1951年創立(1970年法人登記)以来、高知県幡多郡黒潮町佐賀で建設業を営んで参りました。

道路・河川を中心とした一般土木工事、港湾漁港工事・しゅんせつ工事を中心とした海洋土木工事の二つの事業を両輪に、建築工事や造園工事等を手掛ける企業として、地域社会の発展、社会資本整備の一翼を担って参りました。

当社の経営理念である、「真心と技術で社会とお付き合い」を基本に「変化の時代」に対応し、環境への配慮、進化する技術への対応、品質・コスト・納期・安全への意識、労働環境の向上等に鋭意取り組んで参りました。

又、黒潮町においては南海トラフ大地震による大津波発生が懸念されることから、事業継続計画(BCP)を策定し、国土交通省の認定を受け対応しています。

エコアクション21への取組は2011年7月に認証登録し、本年9月で12年2ヶ月を経過、これまでの取組効果としては、以下の点が挙げられます。

- ① CO2排出量削減をもたらせています。
燃料使用量、電気使用量及び水使用量等資源の節約が実際にデータとして確認されています。
生産性が向上しかつ経費の削減となっています。
- ② 建設業の現場において環境に配慮した工事に取り組み、現場での創意工夫した取り組みが実施され発注者から評価をいただいています。
- ③ 社員全員での取り組みにより、環境への意識が高まり一体感が創出されています。
- ④ 地域での清掃活動、環境活動や環境団体への支援により、企業として社会貢献をさせていただいております。
- ⑤ 社員の家族を含め、環境への取り組みが行われています。
- ⑥ 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動に新しく取り組んでいます。

今後とも郷土の社会資本整備に向けて、環境に配慮した建設事業の実現を目指して、より一層エコアクション21に継続して取り組むこととします。

2023年9月1日

山本建設株式会社

代表取締役 山本 浩司

目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	2
3. SDGs宣言	3
4. 環境経営方針	5
5. 環境管理組織体制・役割・責任・権限	6
6. 環境経営活動への取組の全体概要	7
7. 環境経営目標	8
8. 環境経営計画	9
9. 環境経営目標の実績	10
1) 2022年度環境経営目標の実績		
2) 活動結果の推移		
10. 環境経営計画の取組結果とその評価	16
11. 次年度環境経営計画と取組内容	17
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	18
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	20
14. 環境活動の取組内容	21
1) 環境に配慮した施工の提案・実施		
2) 地域・社会貢献活動		
3) 社内活動		
4) その他 各種環境活動		
5) 外部表彰		

発行日

2023年9月1日

発行責任者

環境管理責任者 山本 久夫

黒潮町佐賀 鹿島ヶ浦（幡多十景）と山本建設



1. 組織の概要

【事業所名】

山本建設株式会社

【代表者氏名】

代表取締役 山本 浩司

【所在地】

- ・ 本 社 〒789-1720 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地
- ・ 荷稻資材倉庫 〒789-1705 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

【環境管理責任者氏名及び担当者と連絡先】

- ・ 環境管理責任者 品質・安全管理部長 山本 久夫
- ・ 担当者 工事部部长 打井 幸一
- ・ 連絡先 TEL 0880-55-3141
- FAX 0880-55-3143
- E-mail kouichi@yama-ken.jp

【事業活動の内容】

建設業（主に土木工事、建築工事を行なっています）

高知県知事 許可(特/般-4)第1041号		
建設業の種類	許可年月日	
特定建設業	2022年6月4日	土木工事業
		建築工事業
		しゅんせつ工事業
		とび・土工工事業
		水道施設工事業
		鋼構造物工事業
		舗装工事業
一般建設業	2022年6月4日	解体工事業
		管工事業
		造園工事業

※上記各号に付帯関連する一切の業務

【事業規模】

- ・ 設立年月日 1970年4月30日
- ・ 資本金 3,000万円

【会計年度】

8月～7月

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	822	2,484	1,347
役職員数	人	34	33	33
事務所敷地面積	m ²	626.36	626.36	626.36
事務所延べ床面積	m ²	884.2	884.2	884.2

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日



【対象範囲（認証・登録範囲）】

山本建設株式会社 全社（全組織・全活動・全従業員）

【対象事業所】

本 社：〒789-1720 高知県幡多郡黒潮町佐賀2988番地

荷稻資材倉庫：〒789-1705 高知県幡多郡黒潮町荷稻野中682-1

【事業活動】

建設業

- | | |
|-----------|----------|
| ・土木工事業 | ・鋼構造物工事業 |
| ・建築工事業 | ・舗装工事業 |
| ・しゅんせつ工事業 | ・解体工事業 |
| ・とび・土工事業 | ・管工事業 |
| ・水道施設工事業 | ・造園工事業 |

【環境経営レポート対象期間】

2022年8月～2023年7月

【環境経営レポート発行日】

2023年9月1日

【次回環境経営レポート発行予定日】

2024年9月頃

【作成責任者】

環境管理責任者 山本 久夫

3. SDGs宣言

山本建設株式会社 SDGs宣言

「真心と技術で社会とお付き合い」の環境経営理念に基づき、環境問題、地域貢献、充実した職場環境を目指し、安心・安全なまちづくりに貢献します。

安心・安全なまちづくり

建設業として生活基盤であるインフラ整備を通じ社会へ貢献すると共に、事業継続計画の策定により災害時において、迅速な対応ができる体制の構築、国土強靱化工事など地域政策に積極的に参画することで、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指します。



環境問題

廃棄物の低減、CO2削減、グリーン購入率の向上、環境に配慮した工法の提案及び施工により、環境対策を実践します。



地域貢献

インターンシップ等の教育プログラムへの協力や、地域での清掃活動、環境活動、環境団体への支援により地域の企業として、関係機関と連携し社会貢献を実践します。



充実した職場環境

働き方改革の推進を図り、健康診断後の保健指導を積極的実施、女性社員の活躍ができる職場環境のサポート、社員の教育・研修を積極的に実施することで「時間を有効に」「疲労の軽減」「生産性の向上」に向けて、充実した職場環境を目指します。



2021年3月1日
山本建設株式会社

山本建設は、持続可能な未来を築くためにSDGsに取り組んでいます



県内企業を対象にSDGsを意識した取り組みを促進するため、
2021年10月「こうちSDGs推進企業登録制度」が設立されました。
当社も2021年10月22日より、こうちSDGs推進企業として登録されています。



SDGs達成に向けた宣言書

	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況
環境 社会 経済	・建設施工段階において排出されるCO2排出量の削減	・CO2排出量10%削減 (2021:121t(7月)⇒2030:108t)	・毎月、電力使用量や化石燃料使用量を計測、CO2排出量を算出している ・前年比0.7%削減 (2021→2022)
環境 社会 経済	・継続的な社会貢献・地域貢献に取り組む	・社会貢献・地域貢献活動の展開 (2021:12回⇒2030:15回)	・ロードボランティア活動 ・佐賀の伊与木川を守る会 ・AED設置 ・12回⇒14回(2021→2022)
環境 社会 経済	・学校および行政機関等と連携し講習等を行い、新規での地域雇用の創出・確保	・6名の新規地域雇用創出 (2021:1人⇒2030:6人)	・地元学校で出前授業の実施 ・職場体験1名の受け入れ (2021→2022)

4. 環境経営方針

経営理念

山本建設株式会社は、「真心と技術で社会とお付き合い」の精神で高知県幡多地域の発展と建設事業を通じて地域に貢献することを目指していくと共に、事業活動を行っている企業として環境への影響を考慮し、幡多地域の環境保全に向けて全社で自主的積極的に環境経営に取り組み、継続的に環境負荷の削減に取り組みます。

基本方針

- 1) 当社は、事業活動において環境に関する法規・条例を遵守し、全社員に周知し環境保全に取り組みます。
- 2) 環境教育を充実します。
- 3) 重機・車両の燃料使用量を抑制し節電に努め、本社・建設工事で使用する電気使用量の二酸化炭素排出量を削減します。
- 4) 節水活動により、水使用量を削減します。
- 5) 本社・建設工事で発生する廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- 6) 環境に優しい資材の使用を促進し、周辺環境に配慮した設計・施工に取り組みます。
- 7) 建設工事における騒音、振動の低減、濁水防止、防塵対策を図ります。
- 8) 自然環境保全のため、生物多様性を配慮します。
- 9) グリーン購入や調達を積極的に推進します。
- 10) 地域周辺の環境に対する貢献やボランティア活動へ積極的に参加するとともに、地元地域の各種催事・イベントへの協力及び参加を推進します。
- 11) 環境経営方針を達成する為、環境経営目標を設定し、全従業員が分担して取り組むと共に、定期的に見直し継続的な改善を図ります。
- 12) 環境経営レポート等環境情報については、広く外部へ公表します。
- 13) 持続可能な開発目標の達成に向けて、SDGs活動に取り組んでいきます。

2010年10月30日 制定
2021年10月 1日 改訂
2023年10月 1日 改訂

山本建設株式会社
代表取締役 山本 浩司

5. 環境管理組織体制・役割・責任・権限

代表者:代表取締役 山本 浩司

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営システムの実施に必要な資源を準備
- ・環境管理責任者の任命
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
- ・環境経営目標・環境経営計画を承認
- ・取組み全体の評価と見直し・指示を実施
- ・環境経営レポートの承認

環境管理責任者:品質・安全管理部長 山本 久夫

- ・環境経営システムの構築、実施、管理
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
- ・環境経営目標・環境経営計画を確認
- ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認

EA21・SDGs推進室:打井 幸一・佐野 瑞

- ・環境管理責任者の補佐、推進室の事務局
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守状況の確認
- ・外部コミュニケーションの窓口
- ・環境経営レポートの確認作成、公開
- ・SDGs活動の推進

総務部門長:金子 雄一、工事部門長:森田 政夫

- ・自部門における環境経営システムの実施
- ・自部門における環境経営方針の周知
- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理
- ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、訓練の実施及び記録
- ・自部門の問題点の発見、是正処置、予防処置の実施

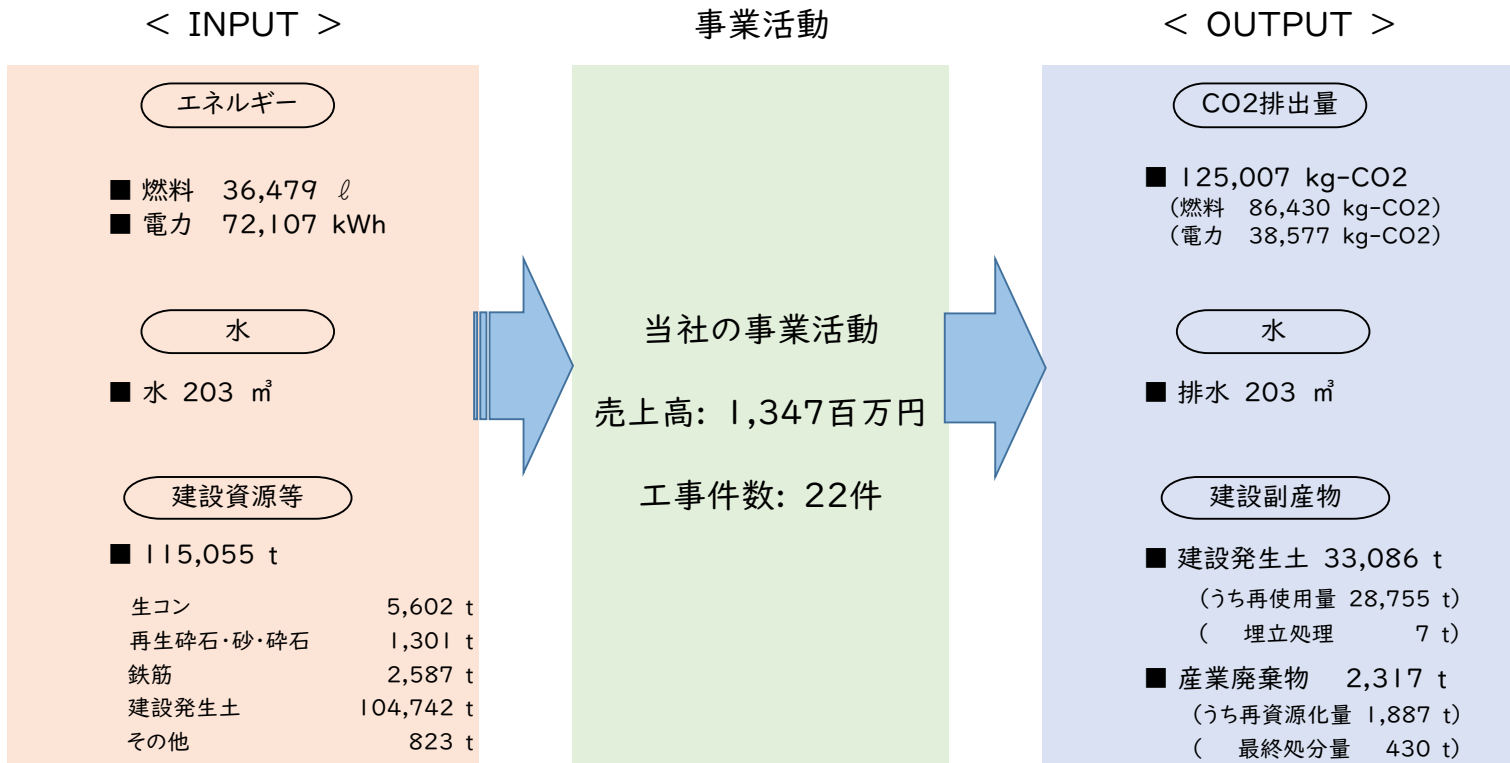
全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
- ・決定事項を守り、自主的積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷のチェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

マテリアルバランス



全体概況

- 二酸化炭素排出量については、現場が遠方または点在していることで燃料の使用量が増加、また電力の使用量増加に伴い目標を達成することができませんでした。ただし、原単位は削減でき目標を達成することができました。
- 電力の削減は日ごろから心がけているものの、現場事務所および休憩所での感染症対策で換気を行いながら空調機器の使用を行ったため使用量が増加となりました。
- 水使用量削減については、漏水点検の実施や手動水栓からセンサー付自動水栓へ交換したことが節水に繋がり、目標を達成することができました。
- 一般廃棄物排出量については削減目標値を大きく下回り、達成することができています。
- 産業廃棄物排出量は、解体工事や改良工事、伐採等を行う工事があり増加しました。また、廃プラや廃石膏ボードなど最終処分となる廃棄物が多く発生したことにより、再資源化率が低減し、目標達成とはなりませんでした。
- 地域貢献・社会貢献活動については、毎月ロードボランティア(清掃活動)の実施や環境団体への支援、インターンシップや職場体験も積極的に受け入れております。

7. 環境経営目標

【単年度および中長期目標】

- 基準値 過去3年間(2019~2021年度)の実績の平均した値より設定
- 対象期間 各年度 会計年度 8月~翌年7月

環境目標		単位	基準値	単年度目標	中長期目標		
			平均売上高 1,465百万円	2022年度目標 -1%削減	2023年度目標 -2%削減	2024年度目標 -3%削減	2025年度目標 -4%削減
CO2排出量の削減		kg-CO2	122,471	121,246	120,022	118,797	117,572
※売上高百万円あたり原単位		kg-CO2/ 百万円	104	103	102	101	100
(1) 燃料使用量の削減		ℓ	36,638	36,272	35,905	35,539	35,172
※売上高百万円あたり原単位		ℓ/百万円	31	31	30	30	30
(2) 電力使用量の削減		kWh	66,625	65,959	65,293	64,626	63,960
水使用量の削減		m3	241	239	236	234	231
廃棄物 排出量	一般廃棄物排出量削減	kg	169	167	166	164	162
	産業廃棄物排出量削減	t	2,188	2,166	2,144	2,122	2,100
	産業廃棄物再資源化率の向上	%	93	94	94	94	94
グリーン購入の推進		%	45	45	45	45	45
環境に配慮した施工の提案・実施 ※1		件	全件	全件	全件	全件	全件
社会貢献活動		回	12	12	12	12	12

* 二酸化炭素排出係数:0.535 [kg-CO2/kWh] 四国電力(2018年12月27日公表)

* CO2排出量・燃料使用量については、売上高あたりの原単位で評価

売上高あたりの原単位の算出には、過去3年間(2019~2021年度)の実績の平均した値を用いた

* LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない

* 地下水の使用量は計量していない為、水使用量に含まれていない

* グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

(※1) 環境に配慮した施工内容

- ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・濁水防止対策の実施
- ・近自然型工法等の導入
- ・ICT工法等の導入

8. 環境経営計画

期間：2022年8月～2023年7月

活動内容		担当者	関連SDGs
CO2 排出量 削減	(1) 燃料使用量削減		
	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り 	打井、各現場代理人	 
	(2) 電力使用量削減		
	<ul style="list-style-type: none"> ・不要照明の消灯 ・再生エネルギーの活用 ・エアコン温度の厳守(冷房28℃、暖房20℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目) 	佐野、各現場代理人 各現場代理人及び総務部	 
水使用量削減			
	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回) 	金子、各現場代理人	
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量削減		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスプリントの裏面使用 ・両面コピーの促進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認 	各部門長、現場代理人	
	産業廃棄物排出量削減		
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の分別を徹底 ・有効利用の促進(伐採木等) ・リサイクル率の向上 	各現場代理人 各部門長、現場代理人	
グリーン購入の推進			
	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入 	宮地	
環境に配慮した施工の提案・実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入 	各現場代理人	       
社会貢献活動			
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加 ・環境団体への支援 	山下(貴) 代表者(社長)	   
SDGs活動			
	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの取り組み 	全社員	

9. 環境経営目標の実績

1) 2022年度環境経営目標の実績

- 基準値 過去3年間(2019~2021年度)の実績の平均した値より設定
- 対象期間 各年度 会計年度 8月~翌年7月
- 売上高 1,347百万円

※ 評価凡例: [○] … 達成、[△] … ほぼ達成、[×] … 未達成

環境目標	単位	基準値	2022年度	2022年度		評価	
		平均売上高 1,465百万円	目標 -1%削減	実績	達成状況		
CO2排出量削減	kg-CO2	122,471	121,246	125,007	3.1% 増加	△	
※売上高百万円あたり原単位 kg-CO2/ 百万円		104	103	93	9.7% 削減	○	
(1) 燃料使用量削減	ℓ	36,638	36,272	36,479	0.6% 増加	△	
※売上高百万円あたり原単位 ℓ/ 百万円		31	31	27	13% 削減	○	
(2) 電力使用量削減	kWh	66,625	65,959	72,107	9.3% 増加	×	
水使用量削減	m3	241	239	203	15% 削減	○	
廃棄物 排出 量	一般廃棄物排出量削減	kg	169	167	105	37% 削減	○
	産業廃棄物排出量削減	t	2,188	2,166	2,317	7% 増加	×
	産業廃棄物再資源化率 の向上	%	93	94	82	12% 未達成	×
グリーン購入の推進	%	45	45	47	2% 達成	○	
環境に配慮した施工の 提案・実施	件	全件	全件	全件	100%	○	
社会貢献活動	回	12	12	12	100%	○	

* 二酸化炭素排出係数:0.535 [kg-CO2/kWh] 四国電力(2018年12月27日公表)

* CO2排出量・燃料使用量については、売上高当たりの原単位で評価

売上高当たりの原単位の算出には、過去3年間(2019~2021年度)の実績の平均した値を用いた

* LPG使用量は極端に数量が少ないため目標を設定していない

* 地下水の使用量は計量していない為、水使用量に含まれていない

* グリーン購入量については、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 削減目標の達成状況計算式: (本年目標値-本年実績値)÷本年目標値×100

2) 活動結果の推移

(1) CO2排出量の削減

■ CO2排出量

目標値

121,246 kg-CO2

実績値

125,007 kg-CO2

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

達成状況	評価
3.1% 増加	

■ 売上高百万円当りの原単位

目標値

103 kg-CO2/百万円

実績値

93 kg-CO2/百万円

達成状況	評価
9.7% 削減	

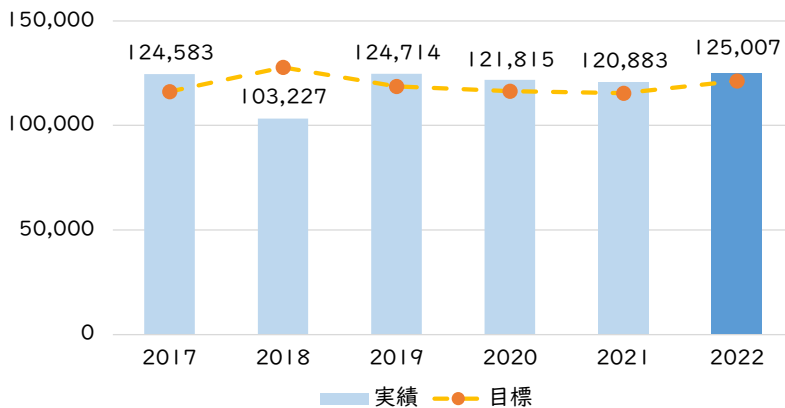
未達成理由

目標値と前年度比からも増加。要因としては、現場の使用電力とガソリンの使用量の増加に伴いCO2排出量が増加。ただし原単位で比較すると、目標値に対して9.7%の削減となり目標は達成。

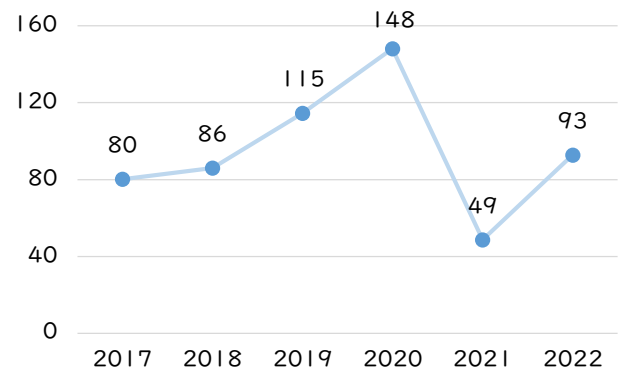
見直し

現場が遠方であったり、工事内容によっては使用量を削減することは難しい。温度設定や相乗り移動など可能なことから削減できるよう取り組んでいく。

CO2排出量の推移 [kg-CO2]

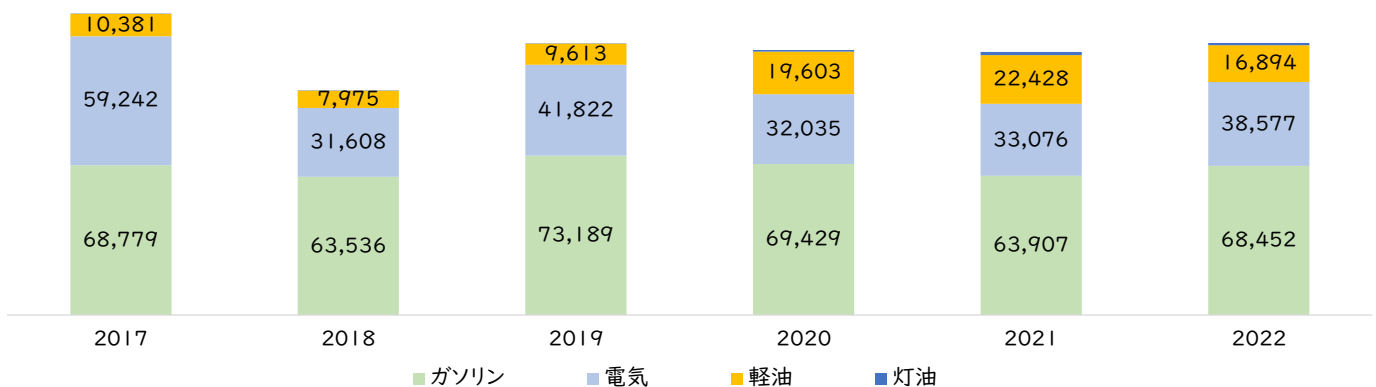


原単位の推移 [kg-CO2/百万円]



※CO2排出量自体は横ばいだが、原単位については売上高により大きく変動している

項目別の推移 [kg-CO2]



① 燃料使用量の削減

■ 燃料使用量

目標値

36,272 ℓ

実績値

36,479 ℓ

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

達成状況

0.6% 増加

評価



■ 売上高百万円当りの原単位

目標値

31 ℓ/百万円

実績値

27 ℓ/百万円

達成状況

13% 削減

評価



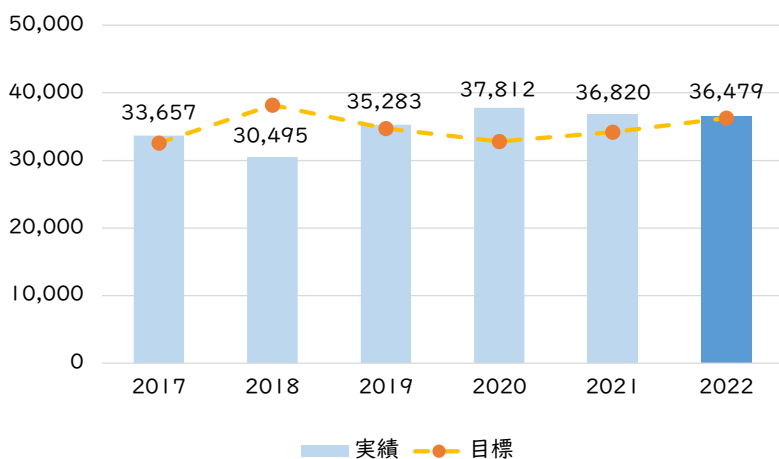
未達成理由

受注工事の施工場所が本社から遠隔地または点在したことにより、ガソリンの使用量が増加。
軽油の使用量については、前年度比25%の削減ができた。
※11ページ「項目別の推移」参照

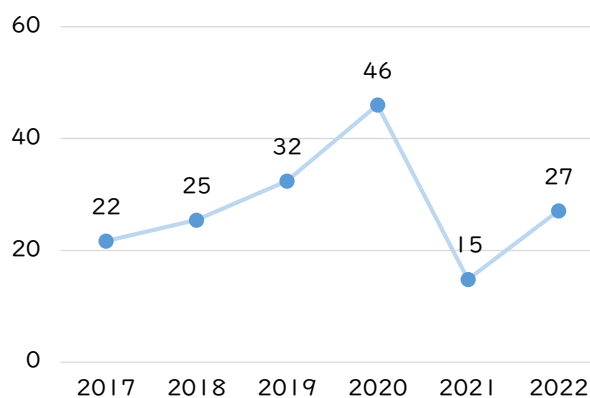
見直し

次年度も遠隔地での工事が予定されており、現場によって使用量が左右される。タイヤの空気圧の確認や車内整理等エコドライブに努め、燃費の良い運転を心掛けていく。

燃料使用量の推移 [ℓ]



原単位の推移 [ℓ/百万円]



※CO2排出量同様、使用量は横ばいだが、原単位は売上高により大きく変動している

▼社用車の定期点検



▼燃費の良い車へ入れ替え(3台)



② 電力使用量の削減

■ 電力使用量

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

目標値

実績値

65,959 kWh

72,107 kWh

達成状況

評価

9.3% 増加



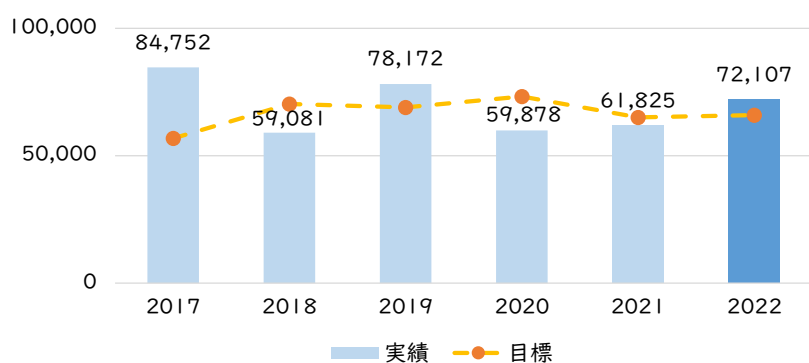
未達成理由

前年度比、本社は1.1%削減に対し、現場は41.8%増加。猛暑や感染症対策で、換気を行いながらの空調機器の使用が要因と考えられる。

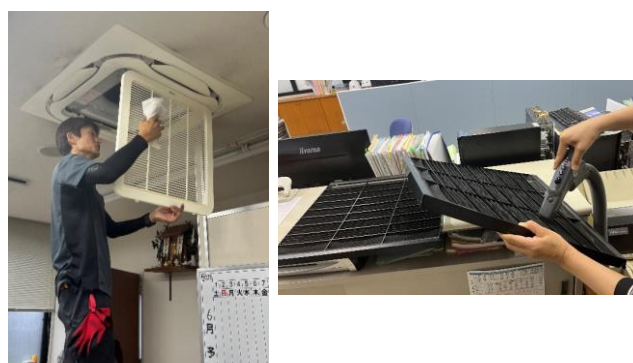
見直し

体調管理に注意しつつ、エアコンの温度調整や未使用時の電気消灯の徹底などで削減を目指していく。

電力使用量の推移 [kWh]



▼エアコンフィルターの定期清掃



(2) 水使用量の削減

■ 水使用量

目標値

実績値

239 m³

203 m³

達成状況

評価

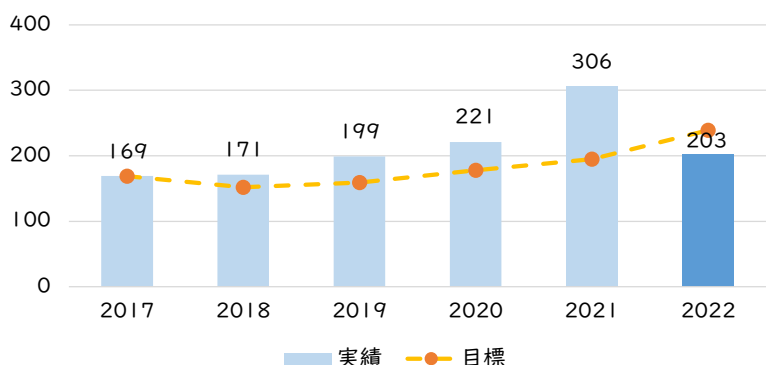
15% 削減



評価

下記グラフの通り、今年度は削減目標値を達成することができた。本社3階手洗い場の蛇口の締め忘れが多発していたため、センサー付き自動水栓へと交換。また自社ヤード内にて地下水を利用した洗車場を新設した。次年度も引き続き節水と削減に励んでいく。

水使用量の推移 [m³]



▼洗車場を自社ヤード内へ新設(地下水使用)



※地下水の使用量は、計量していない為、水使用量に含まれていない。

(3) 廃棄物排出量

① 一般廃棄物排出量の削減

■ 一般廃棄物排出量



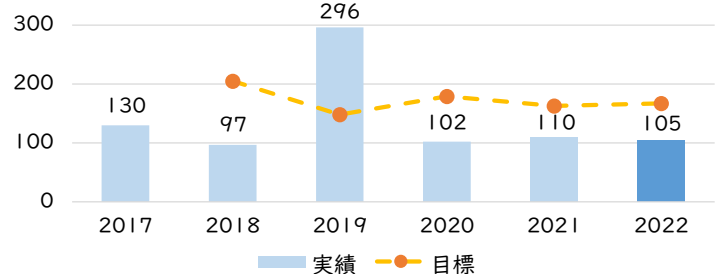
<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

達成状況	評価
37% 削減	

評価

3年連続目標を達成できた。引き続きゴミの分別の徹底、リサイクルの推進を行なっていきたい。

一般廃棄物排出量の推移 [kg]



※2017年については、環境目標の設定がなかった為実績のみ記載。

② 産業廃棄物排出量の削減と再資源化率の向上

■ 産業廃棄物排出量



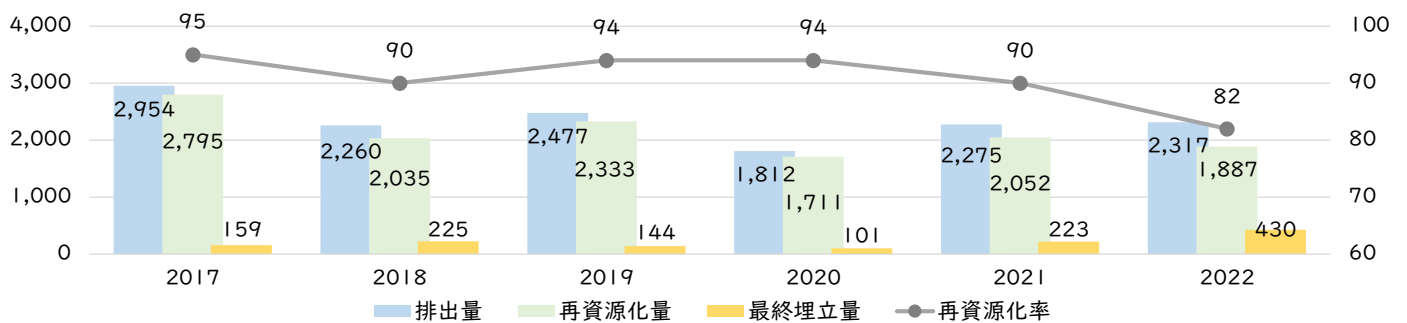
達成状況	評価
7% 増加	

■ 再資源化率



達成状況	評価
12% 未達成	

産業廃棄物排出量、再資源化量、最終埋立量 [t] と再資源化率の推移 [%]



未達成理由

解体工事・改良工事・伐採などにより排出量が増加した。再資源化率については直近5年間に比べ最低値。解体工事での廃石膏ボードや側溝清掃で発生する廃プラなど最終処分の廃棄物が多く発生したためである。

見直し

工事件数や工事内容によって、産業廃棄物排出量と再資源化率も大きく左右される。今後も分別を徹底し可能な限り排出量の削減と再資源化に努めていく。

(4) グリーン購入の推進

■ グリーン購入の推進

<評価凡例> ○ 達成 △ ほぼ達成 × 未達成

目標値

45 %



実績値

47 %

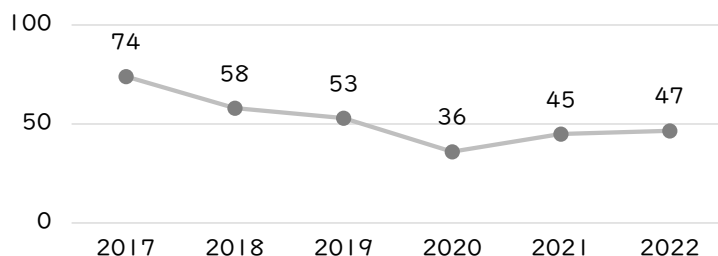
達成状況

2% 達成

評価



■ グリーン購入量の推移 [%]



評価

目標を達成。
今後も継続して環境配慮の商品を選定していく。

※2017年から購入率が減少している理由について
購買担当者の変更に伴い、購入先の変更があった為。
書類や倉庫の整理整頓を行い再利用が可能なものは
再利用することで、購入する頻度は減っている。

■ コスト換算

■ 基準値 過去3年間(2019~2021年度)の実績の平均した値より設定

■ 対象期間 各年度 会計年度 8月~翌年7月

環境目標	単位	基準値	2022年度 目標値	2022年度 実績値	実績費用 (万円)	単価 (円)
CO2排出量の削減	kg-CO2	122,471	121,246	125,007	876	70
(1) 燃料使用量削減	ℓ	36,638	36,272	36,479	628	172
(2) 電力使用量削減	kWh	66,625	65,959	72,107	247	34
産業廃棄物排出量の削減	t	2,188	2,166	2,317	1,830	7,898

原単位(売上高百万円)当たりの実績

環境目標	単位	基準値	2022年度 目標値	2022年度 実績値	実績値-基準値	利益(円) ※1
CO2排出量の削減	kg-CO2	104	103	93	-11	770
(1) 燃料使用量削減	ℓ	31	31	27		
(2) 電力使用量削減	kWh	57	56	54		
産業廃棄物排出量の削減	t	1.8	1.8	1.7	-0.1	790

2022年度 売上高: 1,347百万円

※1 原単位(売上高百万円)当たりの利益は、各環境目標の(実績値-基準値)×単価により算出
基準値に対し売上高百万円当たりでは、770円+790円=1,560円が利益となります。

※ 2022年度の売上1,347百万円当たりでは、同じ売上高で排出割合が基準値だった場合に比べ、
1,560×1,347=2,101,320円 コストダウンしたことになります。

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2022年8月～2023年7月

評価凡例 ○・・・良好、△・・・概ね良好、×・・・出来ていない

活動内容		評価 取組結果	関連SDGs
CO2 排出量 削減	(1)燃料使用量削減	○	 
	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り 	取組は実施できた 今後もエコドライブに努める	
	(2)電力使用量削減	○	 
	<ul style="list-style-type: none"> ・不要照明の消灯 ・再生エネルギーの活用 ・エアコン温度の厳守(冷房28℃、暖房20℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目) 	取組は実施・徹底出来たものの、目標達成には至らなかった 引き続き節電を呼びかける	
水使用量削減		○	
<ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回) 		定例会にて漏水点検の周知・節水の呼び掛けなど実施できた	
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量削減	○	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスプリントの裏面使用 ・両面コピーの促進 ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認 	令和4年度も目標達成 前年度から4.5%減少 次年度も継続する	
	産業廃棄物排出量削減	△	
グリーン購入の推進		○	
<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入 		目標達成。今後も選定し購入していく	
環境に配慮した施工の提案・実施		○	      
<ul style="list-style-type: none"> ・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入 		環境に配慮した施工は全工事で取り組み、「環境配慮工事チェックシート」については主要工事(5件)で実施している 今後も取組を継続する	
社会貢献活動		○	   
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加 ・環境団体への支援 		本社及び現場事務所周辺の清掃活動を積極的に実施できた	
SDGs活動		○	
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの取り組み 		少しずつ社員に浸透している。今後も取り組む	

11. 次年度環境経営計画と取組内容

期間：2023年8月～2024年7月

活動内容 (※)は見直し及び新規追加活動		担当者	関連SDGs
CO2 排出量 削減	(1) 燃料使用量削減	打井、各現場代理人	 
	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの徹底 ・エコドライブの推進、実施 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・タイヤの空気圧確認、車内整理 ・現場への移動車の相乗り 		
	(2) 電力使用量削減	佐野、各現場代理人	 
	(※) 不要照明の消灯、節電の徹底 (※) クールビズ・ウォームビズの推奨 <ul style="list-style-type: none"> ・エアコン温度の厳守(冷房28℃、暖房20℃) ・OA機器のスイッチオフ及び省電モード設定 ・エアコンフィルターの清掃(季節の変わり目) 		
水使用量削減		金子、各現場代理人	
<ul style="list-style-type: none"> ・節水の呼び掛け ・酸性電解水の有効利用 ・漏水点検の実施(月1回) 			
廃棄物 排出量 削減	一般廃棄物排出量削減	各部門長、現場代理人	
	(※) 両面印刷及び裏紙使用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別 ・印刷前にプレビュー確認 		
	産業廃棄物排出量削減	各現場代理人	
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の分別を徹底 (※) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに適正な管理・処理を行う ・リサイクル率の向上 		
グリーン購入の推進		宮地	
<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先購入(事務用品、日用品等) ・古紙率の高いコピー用紙の購入 			
環境に配慮した施工の提案・実施		各現場代理人	      
<ul style="list-style-type: none"> ・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用 ・低騒音・排出ガス対策型重機の使用 ・型枠・工事看板への間伐材の使用 ・濁水防止対策の実施 ・防塵対策の実施 ・近自然型工法等の導入 ・ICT工法等の導入 			
社会貢献活動		山下(貴) 代表者(社長)	   
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な県道等の清掃活動の実施 ・ボランティア活動(清掃活動)の参加 ・環境団体への支援 			
SDGs活動		全社員	
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの取り組み 			

12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無

確認日：2023年7月31日

※廃棄物処理法 第12条9・10項、第12条の3 7項は 2023年6月30日確認

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当部署	遵守 状況
建設工事に係る資材の 再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、再資源化等に要する費用の低減 努力、再資源化された建設資材の使用努力	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第9条	分別解体等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第10条	対象工事等の届出等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第12条	届出事項の説明等	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第13条	請負契約に係る書面の記載事項	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	第16条	再資源化等の実施義務	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律 (廃棄物処理法)	法第3条 第1項	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処 理	2回/年 1月,7月	事業者	遵守
	法第7条	一般廃棄物収集運搬について各市町村長の許可を受ける	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第7条 13項	一般廃棄物収集運搬について基準に従い収集若しくは運搬又 は処分を行わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	第11条	事業者はその産業廃棄物を自ら処分する事	2回/年 1月,7月	事業者	遵守
	法第12条	産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合には、産業廃棄物処理 基準に従わなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 第5項～第7項	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合には、それぞ れの規程に定められた者に委託しなければならない	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	法第12条 9・10項	前年度1,000 t以上の産業廃棄物を排出した事業者は、多量 排出事業者計画届を県知事等に提出。又計画届を提出した事 業者は翌年、県知事等に多量排出事業者実施状況報告書を提 出	1回/年 6月	総務部	遵守
	法第12条の3	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
	法第12条の3 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県 知事)への提出	1回/年 6月	総務部	遵守
	令第6条の2 第1号 第2号	処理を委託する相手は処理業の許可を有する。委託する業者は、 委託しようとする廃棄物の処理が事業の範囲に含まれている事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	令第6条の2 第4号	委託契約は書面で行なう事	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第1条の5	産業廃棄物の保管場所には、60cm角以上の掲示板を設置	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第8条	産業廃棄物保管基準	2回/年 1月,7月	工事部	遵守
	規則第8条の26	マニフェストの保存期間	2回/年 1月,7月	総務部	遵守
規則第8条の28	マニフェストの写しの送付を受けるまでの期間	2回/年 1月,7月	工事部	遵守	
資源の有効な利用の促進に 関する法律(リサイクル法)	第4条	原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部 品の利用促進(ｺﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾌﾟﾗｽチック・木材等)	2回/年 1月,7月	工事部	遵守

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出(建設作業開始7日前までに市町村に提出)	1回/年 7月	工事部	遵守
大気汚染防止法	第18条の15	特定粉じん排出等作業を伴う建設工事の届出(作業開始14日前までに高知県知事へ)	1回/年 7月	工事部	遵守
	第18条の17	解体等工事に係る調査、説明等の実施、掲示	1回/年 7月	工事部	遵守
労働安全衛生法・同施行令・労働安全衛生規則	第14条・66条・88条	作業主任者等の指示、健康診断等、除去工事の事前届出(14日前まで)	1回/年 7月	工事部	遵守
建築基準法	第28条の2	建築材料に石綿等の政令で定める有害物質を添加しない、石綿等をあらかじめ添加した建築材料を使用しない	1回/年 7月	工事部	遵守
浄化槽法	第8条	浄化槽の保守点検の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第9条	浄化槽の清掃の技術上の基準に従って行わなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第10条	浄化槽の保守点検(1回/3ヶ月)及び浄化槽の清掃(1回/1年)をしなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
	第11条	毎年一回、指定検査機関の行う水質に関する検査を受けなければならない	1回/年 7月	総務部	遵守
水質汚濁防止法	第14条の6	公共用水域の水質保全を図るため、国又は地方公共団体による生活排水対策の実施に協力しなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
	第14条の7	生活排水を排出するものは、公共用水域の水質に対する生活排水による汚濁の負荷の低減に資する設備に努めなければならない	1回/年 7月	全員	遵守
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品のフロン漏洩点検を実施する	4回/年 3か月毎	社長	遵守
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	第4条の2	国が実施する大気汚染の防止に関する施策に協力する	1回/年 7月	事業者	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	国土交通省告示第318号	工事用建設機械等の排出ガス対策型使用及び操作方法の統一	1回/年 7月	工事部	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	国土交通省告示第487号	対策型ステッカー配布の建設機械を使用する	1回/年 7月	工事部	遵守
高知県環境基本条例	第6条・7条	基本理念に則り、事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町一般廃棄物処理実施計画	令和元年度黒潮町一般廃棄物処理実施計画	ごみの適正処理を実行する	1回/年 7月	全員	遵守
河川法	第24条・26条・27条	河川区域において土地の占用、工作物の新設等、土地の掘削・盛土等を行う時は、河川管理者の許可が必要	1回/年 7月	工事部	遵守
	第29条	1日につき、50㎡以上の汚水又は排水の場合は河川管理者に届出	1回/年 7月	工事部	遵守
黒潮町伊与木川清流保全条例	第5条・6条	町民及び事業者は町が実施する施策に協力しなければならない	1回/年 7月	事業者	遵守
高知県四十万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例	第4条・7条	生態系及び景観の保全上の支障を予防、人と自然の共生、地域固有の特性を活かした取組、住民その他関係者への必要情報の提供	その都度	事業者	遵守
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(海洋汚染防止法)	第4条・5条	船舶からの油の排出禁止 油による海洋汚染防止の為の設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
	第9条の2~4	船舶からの有害液体物質の排水の禁止、有害液体物質による海洋の汚染の防止のための設備設置	1回/年 7月	工事部	遵守
道路法	第7条2 第47条	道路占用許可の申請 特殊車両通行の許可の申請	その都度	工事部	遵守
道路交通法	第77条	道路使用許可の申請	その都度	工事部	遵守

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。

又、令和4年8月1日~令和5年7月31日の間、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情もありません。

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

報告者	環境管理責任者 山本 久夫
報告年月日	2023年 8月 31日

環境管理責任者の報告及び改善への提案	
①関連法規等の遵守状況	関連法規等に関する違反・訴訟は無し
②問題点の是正処置状況	産業廃棄物の再資源化率の目標値について 実施可能な範囲で目標値設定の見直しを行った
③前回までの代表者の指示事項への対応	節水対策として、本社3階トイレ手洗い場をセンサー付自動水栓へと交換した
④電気・化石燃料について 月間実績値が年間月平均値を3割超えた理由	電気 … 感染症対策による換気を行いながらの空調機器の使用のため増加した 化石燃料 … 遠方の現場があったため燃料の使用量が増加した

環境経営目標・環境経営計画の達成状況			
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント
二酸化炭素削減 (燃料および電力使用量)	△	○	換気が必要な中での電気の使用量削減が課題である 次年度も温度調整の徹底や無駄な使用は控え削減に努めていく
水使用量削減	○	○	目標値・経営計画ともに達成、引き続き無駄な使用は避け節水を心掛ける
廃棄物排出量削減	△	○	一般廃棄物については達成できたが、産業廃棄物は未達成となった 工事内容によって左右されるが、今後も適切な処分を継続する
産業廃棄物再資源化率	×	△	混合廃棄物の分別や、環境に配慮した処分場の選択などから再資源化に努める
グリーン購入の推進	○	○	目標値の見直しを行い、僅か2%ではあるが目標達成 引き続き意識して購入する
環境に配慮した施工の 提案・実施	○	○	更なる取り組みを考慮していく
社会貢献活動	○	○	社員一丸となって貢献活動に取り組むことができた 今後も積極的に参加し続けていく

周囲の変化の状況	
①外部コミュニケーション記録	・外部からの苦情、要望は無し ・その他 ⇒現場に近接する土地の地権者より「伐採をしたいが急勾配で 樹木が高い為お願いしたい」と相談があり、伐採作業を行った
②環境関連法規等の改訂動向	「黒潮町一般廃棄物処理実施計画」適用条項の変更

対象項目	変更の有無	代表者による評価及び指示事項
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	引き続き活動を継続する
環境経営目標	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	未達成項目もあるが、全体的な取り組みは良好 今後の活動状況によって必要であれば目標の修正を行う
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	計画の取組は適切に行われており、引き続き継続する
実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	現在の実施体制で継続する
環境経営システム (上記以外)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	エコアクション21はシステムとして有効に機能している

※社長の指示を受けての是正内容
指示に従い、動向を注視し今後の目標設定の
変更を検討していく

作成年月日	2023年 8月 31日
社長承認サイン	山本 浩司

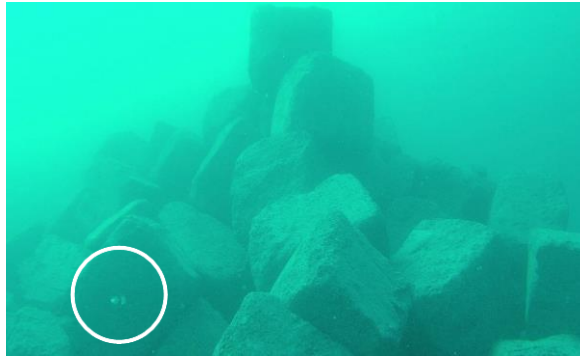
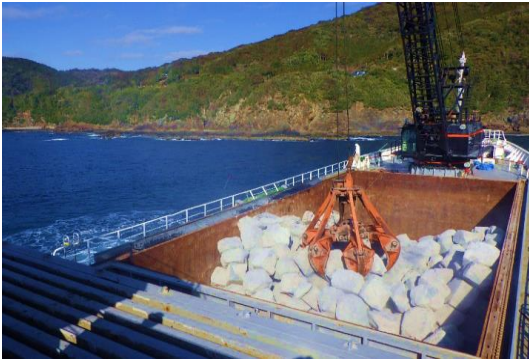
14. 環境活動の取組内容

1) 環境に配慮した施工の提案・実施

(1) 環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用



- ◆発注者: 黒潮町
- ◆工事名: 水産第4-14-1号 佐賀地区投石魚礁設置工事



水中ドローンで確認!

◀設置5日後
魚の遊泳が確認されました

リサイクル資材(鉄鋼副産物)から製造された藻礁・魚礁となるブロックを使用。海藻類・生物が着生しやすい気質であるため、藻場・漁場の造成が期待されます。



(2) 型枠・工事看板への間伐材の使用、県内産・町内産木材の使用

- ◆発注者: 幡多土木事務所(道路建設課)
- ◆工事名: 道交地防安(1.5車)第9103-041-1号 県道秋丸佐賀線防災・安全交付金工事



● 主な活動内容

- ・県内産木材を利用した木製型枠・安全掲示板
- ・県内産丸太を木柵に使用
- ・伐採した杉・ヒノキの有効活用

- ◆発注者: 黒潮町
- ◆工事名: 令和4年度横浜更新住宅建築主体工事A工区 / 令和4年度横浜更新住宅建築主体工事C工区

● 主な活動内容

- ・高知県産・黒潮町産の木材を使用



(3) 土砂流出防止および濁水対策の実施

- ◆発注者:国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所
- ◆工事名:令和4年度 四万十川井沢堤防工事

●主な活動内容

- ・バイオログフィルター(天然ヤシ繊維100%素材)の設置

2台のノッチタンクを使用。タンク内を5層に分け、天然ヤシ繊維100%素材のフィルター材等を各層へ設置し濁水を濾過処理。また、河川への排水時には溜まった濁水のPh及び濁度測定を行い排水基準値を満たすことと、目視にて確認するなどの濁水対策を実施しました。



濁水フィルター作成



フィルターの設置



バイオログフィルターの設置



排水口から河川へ



2番タンク(4層目)



1番タンク(1層目)

※Ph及び濁度測定を行い排水基準値を満たし
また、目視にて確認後に排水

(4) 粉塵・防塵対策の実施



●主な活動内容

- ・散水車による散水と清掃
- ・施工ヤード全面にトンネル土砂の敷均
- ・タイヤ洗浄施設の設置

散水車にて適宜散水を行ない、飛散を防止しています。
降雨時の施工などによって、道路が汚れた際にも清掃し
粉塵・防塵対策に努めています。





(5) 近自然型工法等の導入

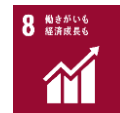
- ◆発注者: 幡多土木事務所(道路建設課)
- ◆工事名: 道交地防安(1.5車)第9103-041-1号 県道秋丸佐賀線防災・安全交付金工事

●主な活動内容

- ・生分解性のマルチングシートを敷設
- ・木柵の土壌改良後にポット苗を植樹



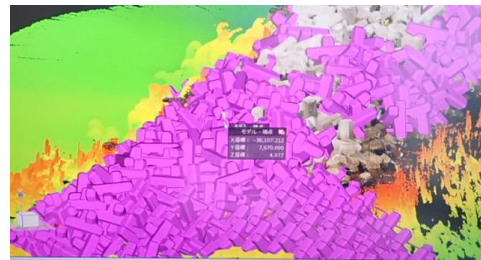
マルチングシート敷設・ポット苗植樹状況



(6) ICT(情報通信技術)工法等の導入

●主な活動内容

- ・ICT建設機械の使用
- ・デジタル測量機器の活用
- ・UAV測量(ドローン測量)
- ・水中ドローンの導入



◀3次元データ化
ブロックの据付
シミュレーション



ICT工法の導入を進めることで従来の施工と比較し
丁張や検測等の作業が大幅に削減でき工期の短縮、
また生産性・安全性・品質の向上にも繋がります。

■国土交通省(中村河川国道事務所)開催

令和4年10月20日

中村河川国道事務所が開催の「四万十市の道路整備を進める女性の会」と「中村小学校児童」を招いた現場見学会に
協力しました。弊社ブースでは、ICTを取り入れた建設機械の操縦体験や高所作業車への搭乗など行いました。



2) 地域・社会貢献活動

(1) ロードボランティア活動



2007年より、毎月1回(年12回)全社員を3班に分けての交代制で、ロードボランティア活動(清掃活動)を行っています。
※本社周辺及び県道25号線・県道334号線(中土佐佐賀線・佐賀港線)



◀令和5年5月17日
職場体験受入の地元の中학생達と一緒に清掃活動を行ないました!

「意外とゴミが落ちていた」との声もありました。
これからも積極的に取り組みを継続していきます。



(2) 小学生と国道沿いの花壇美化活動

令和4年8月28日 道路ふれあい月間にあわせて、国道56号線沿いの水辺の公園において、地元小学生たちが通学路に花を植えました。子どもたちでも簡単に花植えができるよう、事前に草刈りなどの作業を行ないました。



事前準備



花植えをしている子どもたち



(3) インターンシップの受け入れ



令和4年11月7日~8日の2日間にわたり、土木部と建築部で高校生のインターンシップの受入を行いました。UAV写真測量やドローン操縦体験、基礎ブロックの材料検収など、実際に現場の緊張感や雰囲気を体験。インターンシップを通じて、一人でも多くの学生のみなさんに建設業に興味と理解を深めてもらい、さらに建設業の役割や魅力を感じてもらえればと思います。



ドローン操縦・UAV測量



既設コンクリート取壊し寸法確認



丁張設置・検収

3) 社内活動

(1) 社内安全衛生会議

毎月1回、社内安全衛生会議でエコアクション21の取組みについての確認等を行っています。

審査後の会議では昨年度の実績報告と見直しを行い、今年度の環境経営方針と環境経営計画、各自の役割分担の周知については、3ヶ月毎に再確認と見直しを行っています。

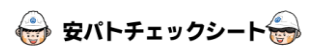


◀ 町外の現場事務所からもオンラインでの参加が可能になり、移動時間の短縮に繋がりました。

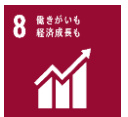


(2) 女性目線での安全パトロール

女性社員による安全パトロールを定期的を実施。各現場の安全管理体制や女性目線で事務所及び作業環境の状況を独自に作成したチェックシートを用いて、点検を行っています。点検後は社内安全衛生会議にて結果を報告、改善点の見直しを図り、より安全で働きやすい職場環境を整えられるよう取り組んでいます。



実施日	実施者	実施内容	結果
令和4年2月20日～令和4年2月22日	評定	コメント	
工前		動機点検はできていますか 安全点検はできていますか 整備点検はできていますか 掃除はできていますか	
作業中		塵埃は発生していますか 不要物の廃材及び雨水はできていますか エアコンの換気量は適正ですか 換気スペースは適切に使用されていますか トイレはきれいに清掃されていますか 手洗い場・ハンドソープは備わっていますか	
作業後		安全点検はできていますか 掃除はできていますか 塵埃は発生していますか 不要物の廃材及び雨水はできていますか エアコンの換気量は適正ですか 換気スペースは適切に使用されていますか トイレはきれいに清掃されていますか 手洗い場・ハンドソープは備わっていますか	
作業場内		作業場内は整備されていますか 産業廃棄物の分別はできていますか 現場事務所内の安全点検は実施されていますか 換気スペースは適切に使用されていますか	
その他		まちんと整備・整備されていますか	
評価			



(3) 「高知家」健康企業宣言



社内にある血圧計・足つぼ

全国健康保険協会（協会けんぽ高知支部）と高知県が推進する健康経営「高知家」プロジェクトに参加し、「高知家」健康企業宣言をしました！

社員が心身ともに健康で、安全に働くことができる環境づくりに取り組み、充実した職場環境を目指します。

4) その他 各種環境活動

主な環境活動

◆環境活動への参加

団体名	活動名	時期
高知商工会議所	おらんくのストップ温暖化宣言	2013年12月～
高知県林業振興・環境部	ウォームビズ四国・クールビズ四国 キャンペーン参加	2017年11月～
特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド	集めて送って国際協力! 書き損じハガキ回収キャンペーン	2023年2月
高知県地球温暖化防止県民会議 県民部会事務局 環境の杜こうち	環境にやさしい買い物キャンペーン2022	2022年10・11月

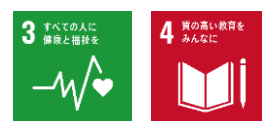
◆環境イベント支援

支援団体	支援イベント名	時期
88クリーンウォーク四国 実行委員会事務局	88クリーンウォーク四国	2022年8月

◆環境団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
佐賀の伊与木川を守る会	伊与木川の環境保護活動	2023年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2023年

(1) 使用済み切手回収キャンペーンへの参加



特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールドが行う「書き損じハガキ回収キャンペーン」に参加し、弊社は使用済み切手を社内で収集しました。使用済み切手は換金後、開発途上国の飢餓をなくす活動（コロナ禍で生存の危機に瀕した世帯への食料支援や、啓発活動、青少年育成等）にあてられます。



(2) 「佐賀の伊与木川を守る会」稚アユの放流



2023年4月24日 地元の保育園児23名と共に約2000匹の稚アユを放流しました。

「佐賀の伊与木川を守る会」の主催により今回で12回目を迎えます。旧佐賀町に流れる清流、伊与木川環境と川に住む生物(アユ・ウナギ・ツガニ等)の保護、自然と川に親しみ、清流を孫の代まで残していくことを目的に活動しています。地域貢献活動の一環として、弊社も毎年協賛・参加しています。



草刈り前



草刈り後



放流前の稚アユ



バケツリレーで稚アユを運ぶ様子



子どもたちと社員と社長

5) 外部表彰

●表彰状

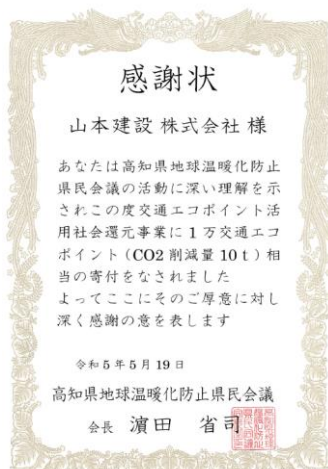
年月日	表彰授与機関	表彰名	工事名
令和4年7月26日	国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所長 田中元幸	優秀貢献工事	令和2年度 中村管内バイパス保守工事

●感謝状

年月日	表彰授与機関	表彰名
令和5年5月19日	高知県地球温暖化防止県民会議 会長 濱田省司	感謝状 ※1
2021年度	一般財団法人持続性推進機構 エコアクション21 中央事務局 理事長 森本英香	永年継続事業者感謝状

●その他

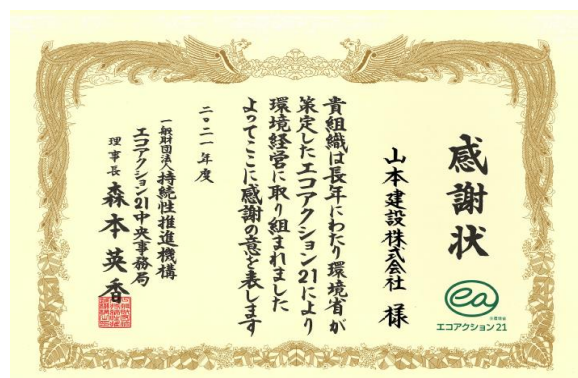
年月日	表彰授与機関	表彰名
令和4年7月21日	国土交通省 四国地方整備局長	令和4年度 工事成績優秀企業認定書 ※2
令和4年5月18日	高知県地球温暖化防止県民会議 事業者部会長 山崎道生	事業者部会長賞 (表彰対象活動:エコアクション21) ※3



※1



※2



※3

真心と技術で
社会とお付き合い



山本建設株式会社

